

平成 22 年度に係る部局達成状況評価

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 附属図書館 | 28. 超高压電子顕微鏡センター |
| 2. 文学研究科・文学部 | 29. ラジオアイソトープ総合センター |
| 3. 人間科学研究科・人間科学部 | 30. 環境安全研究管理センター |
| 4. 外国語学部 | 31. 国際教育交流センター |
| 5. 法学研究科・法学部 | 32. 生物工学国際交流センター |
| 6. 経済学研究科・経済学部 | 33. 極限量子科学研究センター |
| 7. 理学研究科・理学部 | 34. 太陽エネルギー化学研究センター |
| 8. 医学系研究科・医学部（医学科） | 35. 総合学術博物館 |
| 9. 医学系研究科・医学部（保健学科） | 36. 大学教育実践センター |
| 10. 医学部附属病院 | 37. 先端科学イノベーションセンター |
| 11. 歯学研究科・歯学部 | 38. 保健センター |
| 12. 歯学部附属病院 | 39. 臨床医工学融合研究教育センター |
| 13. 薬学研究科・薬学部 | 40. コミュニケーションデザイン・センター |
| 14. 工学研究科・工学部 | 41. 金融・保険教育研究センター |
| 15. 基礎工学研究科・基礎工学部 | 42. 科学教育機器リノベーションセンター |
| 16. 言語文化研究科 | 43. グローバルコラボレーションセンター |
| 17. 国際公共政策研究科 | 44. 世界言語研究センター |
| 18. 情報科学研究科 | 45. 日本語日本文化教育センター |
| 19. 生命機能研究科 | 46. 環境イノベーションデザインセンター |
| 20. 高等司法研究科 | 47. ナノサイエンスデザイン教育研究センター |
| 21. 連合小児発達学研究科 | 48. 知的財産センター |
| 22. 微生物病研究所 | 49. 核物理研究センター |
| 23. 産業科学研究所 | 50. サイバーメディアセンター |
| 24. 蛋白質研究所 | 51. レーザーエネルギー学研究センター |
| 25. 社会経済研究所 | 52. 免疫学フロンティア研究センター |
| 26. 接合科学研究所 | 53. 学際融合教育研究センター |
| 27. 低温センター | |

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:附属図書館

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、ラーニング・コモンズにおいて情報リテラシー教育の支援ツールを作成し(項目5-1-1)、平成23年度からの図書館の開館時間の延長を決定する(項目5-1-2)など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	該当なし。
3. その他 (大学の年度計画: 11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、機関リポジトリ事業を推進し、総登録件数を17,600件に拡大する(項目12-1-1)など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
	(3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、電子ジャーナルや学生用図書の拡充(項目29-2-1、29-2-2)、ラーニング・コモンズの活用(項目29-2-4)など積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、英語・中国語・韓国語の図書館利用案内のウェブサイトを構築する(項目29-2-9)など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:文学研究科・文学部

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、大学基盤推進経費によりマルチメディア教育の基盤を整備する（項目4－2－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、新たに採択された「アジアをめぐる比較芸術・デザイン学研究－日英間に広がる21世紀の地平」の実施を通して国際的研究ネットワークの構築を進める（項目8－3－2）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、財団法人懷徳堂記念会と連携し、「懷徳堂展－大阪“知”の源流－」を開催する（項目12－1－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
	(3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、教員の業務評価制度とサバティカル制度においてインセンティブを付与する等の制度改正を行い、第二種衛生管理者の資格取得を促進して安全衛生管理体制を拡充する（項目27－2－1）など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、国内外の大学に在籍する日本語学習者を対象とする日本語超短期プログラム「人文学のための日本語（Japanese for Humanities）」を開講する（項目17－5－1）など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:人間科学研究科・人間科学部

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、G30英語コースの開講科目を多様化し、外国人教員4名を採用する（項目4－1－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、研究推進室の活動の結果、大阪大学最先端ときめき研究推進事業に「バイオサイエンスの時代における人間の未来」が採択される（項目8－1－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、公開講座「障害児・者のこころと体をはぐくむ臨床動作法」（計11回、のべ約600人受講）を開催する（項目12－1－1）など社会との連携強化に積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
	(3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、教務委員会学業支援チームの活動により、7名の学生について支援効果を挙げる（項目27－4－1）など学生のメンタルヘルスケアに積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、教育改革推進室により、学生の国際学会での発表や、調査研究の支援に積極的に取り組んだ結果、大学院生が15件の学会賞等を受賞する（項目6－4－1）などの成果をあげている。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:外国語学部

項 目		コメン
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、発達障害を持つ学生の現状把握やオフィスアワーに関するアンケートの報告書（項目6－1－1、6－2）や「外国語学部公認団体への活動サポート状況や活動スペースについての状況に関する報告」を作成する（項目6－3）など適切に実施している。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	該当なし。
3. その他 (大学の年度計画：11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、広報活動の充実を図り、中国語、ベトナム語、英語の授業科目に多くの社会人を科目等履修生として受け入れる（項目11－2）など適切に実施している。 【留意事項】 特になし。
	(3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、「危機管理講演会―安全な海外渡航のために―」を開催し（項目27－3－1）、また海外におけるリスク管理のノウハウを地域ごとに取りまとめ、オンライン提供する（項目27－3－2）など適切に実施している。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 障害を持つ学生についての対応状況の把握や、学部公認団体への活動サポート（項目6－2、6－3）など学生支援に積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:法学研究科・法学部

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、学部においては、法曹実務家による特別講義を開講し、法科大学院等への進学や公務員試験の合格を促進し、大学院においては研究者養成と高度職業人養成の2つのプログラムの名称を変更し、趣旨をさらに明確化する（項目2－1－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、研究推進室を設け、新たな研究分野を開拓するミーティングを行う（項目8－1－1、9－2－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、ドイツ・ベルリン自由大学との間で公法関係の共同研究を進め、ブラジル・サンパウロ大学と部局間の交流覚書を締結する（項目13－2－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
	(3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、教育の在り方の再検討や財務、人事などを検討する「計画室」のほか、財務室、広報室、評価室、研究推進室、資料室、情報マネジメント室、学生支援室、国際交流室、施設マネジメント室、安全衛生管理室の「室」を設置する（項目17－5－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、計画室、研究推進室等の「室」を設置する（項目8－1－1、項目17－5－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名: 経済学研究科・経済学部

項 目		コメン
1. 教育 (大学の年度計画: 1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、適切に実施しており、計画は概ね達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、他部局や他組織との連携による多様な専門教育、学際融合教育を維持する（項目 4－1－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 項目 1－1－1 の共通教育系科目への提供科目数が 3 科目であり、また項目 1－2－1 の受講者数が極めて少ないなど、達成状況からみて、年度計画を順調に実施している（自己評定Ⅲ）とはいいがたいものが見受けられる。
2. 研究 (大学の年度計画: 8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、グローバルCOEプログラム「人間行動と社会経済ダイナミクス」を推進し（様式 2）、中間評価で 5 段階評価の最高評価を受けた上、「特に優れている拠点」と明記され、優れた成果が上がっている。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、オープン・ファカルティ・センター（OFC）を中心とした公開講座の実施（3 回、合計 212 人参加）（項目 12－1－1）、5 名の事務職員等を海外へ派遣する（項目 13－1－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
	(3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	該当なし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、グローバルCOEプログラム「人間行動と社会経済ダイナミクス」に基づき、行動経済学の研究が推進する（様式 2）など、成果が上がっている。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:理学研究科・理学部

項 目		コメ ント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、「理数オーナーセミナー」（項目1－2）、グローバル30「化学・生物学複合メジャープログラム」「統合理学特別コース」および「国際物理特別コース」（項目1－3）、「生命理学コース」における学際融合教育（項目2－2）など着実かつ積極的に取り組んでいる。また、新しい大学院コースの設置の決定（項目2－1）や学部入試に係る新制度の導入決定（項目3－2）など、特筆すべき取り組みを行っている。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、運営費交付金等の内部資金を運用した基礎研究および萌芽的研究への支援の継続（項目8－1）、重点プロジェクトの継続推進（項目8－2）、理学懇話会の実施（項目9－2）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、小中高生に対する啓発活動、出張講義、公開授業（項目12－1）、若手研究者インターナショナルトレーニングプログラム（ITP）など各種プログラムを利用した国際交流（項目13－1）に積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
	(3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	該当なし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、グローバル30（項目1－3）、大学院教育改革支援プログラム（大学院GP）（項目2－1）、グローバルCOEプログラム等各種研究プロジェクト（項目8－2）など教育、研究ともに着実に実施するとともに、学部入試選抜方法（項目3－2）の改革について積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:医学系研究科・医学部(医学科)

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、学部学生に対する体験型学習の充実（項目1－2－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、グローバルCOEプログラム「オルガネラネットワーク医学創成プログラム」（項目8－2－1）について、中間評価で「現行の努力を継続することによって、当初目的を達成することが可能と判断される」との評価を受けており、優れた成果が上がっている。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、国際シンポジウムの開催、海外研究者の招聘など国際ネットワークの推進（項目13－2－1）に積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
	(3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、適切に実施しており、計画は概ね達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、緒方洪庵生誕200周年記念基金を活用し、スペースの有効活用を図り、学生用自習室、グループ学習室の整備、オープンオフィスの開設を実施する（項目26－2－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 研究費の不正使用が行われていたことから、再発防止のための着実な取組が求められる。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、PET分子イメージングセンターの設立（項目8－1－1）、グローバルCOEプログラムの推進（項目8－2－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:医学系研究科・医学部(保健学科)

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、がんプロフェッショナル養成プランの推進（項目2－2－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、The Japan Centre for Evidence Based Practice を新たに設立し、看護研究の国際化や情報発信センターとしての活動を強化する（項目8－3－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、ロボティクス&デザイン看工融合共同研究講座を開設する（項目11－1－1）など特筆すべき取り組みを行っている。 【留意事項】 特になし。
	(3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、市民が参加しやすい講座・セミナー等を多数企画・実施する（項目25－1－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、ツインリサーチセンターを基盤にしたプロジェクト研究（項目8－2－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:医学部附属病院

項 目		コメン
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	該当なし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	該当なし。
3. その他 (大学の年度計画：11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流 (3) 附属病院	該当なし。 【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、西日本橋渡し研究アライアンス（ACT west）を設立してトランスレーショナルリサーチの実践を推進する（項目14－1－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	該当なし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、改善指摘事項も全くない状況で病院機能評価Ver. 6 の認定を受ける（項目15－1－1）など積極的に取り組んでいる。また、臓器移植改正法が施行されるにあたり、全国に先駆けて、改正法施行後の脳死臓器提供のシミュレーションを施行し、臓器移植に積極的に取り組んでいる（様式2）。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:歯学研究科・歯学部

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、PBLを含む体験型教育科目の充実（項目1－2－1）、入学定員の適正化（項目3－2－1）、マイスターコース設置への検討開始（項目7－1－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、既存の中央研究室機能を口腔科学フロンティアセンターへ統合し、研究推進体制を整備する（項目9－2－1）など特筆すべき取り組みを行っている。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、市民フォーラムの実施（項目11－1－1）、海外からの短期学生受入れプログラムISW（International Student Week）で8名の学生を受け入れる（項目13－1－1）など特筆すべき取り組みを行っている。 【留意事項】 特になし。
	(3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成23年度入試より入学定員を65名から53名（前期48名、後期5名、編入学試験の募集停止）とする（項目17－3－1）など、入学定員の適正化に積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、入学定員の適正化（項目3－2－1、17－3－1）、市民フォーラムの実施（項目11－1－1）など特筆すべき取り組みを行っている。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:歯学部附属病院

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	該当なし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	該当なし。
3. その他 (大学の年度計画：11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流 (3) 附属病院	該当なし。 【年度計画の達成状況】 平成22年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、歯科医師卒後臨床研修の外部評価で、参加13国公立施設内で最高位の評価を得る（項目16－1－1）とともに、診療録の完全電子化による業務の効率化、医療の質向上（項目14－3－1）など、特筆すべき取り組みを行っている。 【留意事項】 該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	該当なし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は特筆すべき進捗状況にあると判断できる。引き続き、現行の取り組みを維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、近未来医療センターでの診療開始（項目14－2－1）、CPセンターの整備（様式2）など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 該当なし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:薬学研究科・薬学部

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、組織的な大学院教育改革プログラム「健康環境リスクマネジメント専門家育成」により、環境薬学領域における大学院教育の高度化・実質化・国際化（項目2－1－4、2－2－3、4－1－5、7－1－1、8－1－2、8－2－3）など積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、文部科学省最先端研究基盤事業「化合物ライブラリーを活用した創薬等先端研究・教育基盤事業の整備」に採択されるなど（項目9－2－2）、目覚ましい成果を上げている。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、「薬剤師キャリアアップレクチャー」の内容を充実させた結果、参加者が増加する（項目11－2－2）など成果が上がっている。 【留意事項】 特になし。
	(3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、研究科ホームページの大幅改定を行い、研究科・学部紹介ムービーを導入して詳細な研究内容の紹介などを視覚的にアピールできるように改善した結果、8月の大学説明会の参加人数は前年度比2倍強の3,775名に増加する（様式2）など成果が上がっている。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は特筆すべき進捗状況にあると判断できる。引き続き、現行の取り組みを維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、組織的な大学院教育改革推進プログラム等、各種プログラムの推進、さらには文部科学省最先端研究基盤事業での採択（項目9－2－2）など特筆すべき取り組みを行い、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:工学研究科・工学部

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、大学院生を他機関・会社との共同研究に関わらせるインターンシップオンキャンパス（項目2－2－1、4－1－1）、グローバルCOEプログラム等複数のプログラムを利用した海外研修支援（項目1－3－1）、大学説明会の開催（参加者4,000人以上）（項目3－1－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度の特徴的な取り組み（様式2）として、フォトニクス先端融合研究拠点において研究棟を新設するなど、イノベーション創出につながる研究を推進するとともに、グローバルCOEプログラム「高機能化原子制御製造プロセス教育研究拠点」について、中間評価で「現行の努力を継続することによって、当初目的を達成することが可能と判断される」との評価を受けており、優れた成果が上がっている。その他のグローバルCOEプログラム、国際共同研究も順調に進行し（項目8－1－1～8－3－1）、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、産官学の連携を引き続き積極的に推進し、学外から産学連携推進教員11名を受け入れ（様式2）、さらに産官との共同研究講座は16社に増える（項目11－1－1）など成果が上がっている。また、留学生のリクルート活動をタイ、中国、ベトナムでも行う（項目13－1－1、13－2－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
	(3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、事務部から連絡が必要な構成員に直接メールで情報を通知するシステムや、部局内での双方向の情報通信システムの確立（項目19－1－1、19－2－1、様式2）など、人的資源の集中化による事務業務の効率化に積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、インターンシップオンキャンパス（項目2－2－1、4－1－1）、グローバルCOEプログラムの順調な遂行（項目8－1－1～8－3－1）、共同研究講座の推進（項目11－1－1）、事務の効率化（項目19－1－1、19－2－1、様式2）など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:基礎工学研究科・基礎工学部

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、「基礎工学PBL」などの体験型少人数科目の開講（項目1－2－1）、大学院生向け英語科目の配当、グローバル30の「化学・生物学複合メジャーコース」の立ち上げ（項目1－3－1）、情報通信技術を活用した教育環境の整備（項目4－2－1）、組織的な大学院教育改革推進プログラム（大学院GP）を通じた学生の自己学習方策の導入の実施（項目5－1－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、グローバルCOEや重点研究プロジェクト（項目8－2－1）など積極的に取り組んでいる。特に、グローバルCOEプログラム「物質の量子機能解明と未来型機能材料創出」について、中間評価で「現行の努力を継続することによって、当初目的を達成することが可能と判断される」との評価を受けており、優れた成果が上がっている。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、一般市民向けの公開講座（参加者144名）（項目12－1－1）、海外大学からのインターンシップ留学生の受け入れ（項目13－2－2）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
	(3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、教員業績評価の結果の業績手当への反映（項目24－1－2）、「国際化企画推進室」を設置する（項目17－5－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、教員業績評価の実施及びその結果を業績手当に反映させる（24－1－2）など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:言語文化研究科

項 目		コメ ント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、世界言語研究センター教員の言語文化研究科への所属変更、日本語・日本文化関係の専攻の新設などの案を策定する（項目2－1－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、言語文化専攻と言語社会専攻とが一体となって共同の学会を開催し、共同研究プロジェクトの成果報告書を12巻発刊する（項目9－3－1）など適切に実施している。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、企業との共同研究や省庁との受託研究で論文や特許出願の成果を得るとともに（項目11－1－1）、在学生および修了生計8名が、海外の大学等日本語教育機関に日本語教員として赴任する（項目13－2－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
	(3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、旧大阪外国語大学との統合後の教育研究組織のあり方について、より抜本的な改革案を策定する（項目17－3－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、教育研究組織の改革案（項目17－3－1）や全学の言語教育改革を推進していく計画を立てる（様式2）など積極的に取り組んでおり、着実な成果が上がるのが期待される。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:国際公共政策研究科

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、EUIJの提供科目を6科目から38科目に大幅に増加させる（項目4－1－1）など、他大学との共同カリキュラムの実施に積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、適切に実施しており、計画は概ね達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、特任研究員を積極的に採用して若手研究者の育成を図る（項目9－1－1）など適切に実施している。 【留意事項】 項目9－3－1は、教員のインセンティブ付与の実績が確認できないなど年度計画を順調に実施している（自己評定Ⅲ）とは言いがたい。
3. その他 (大学の年度計画：11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、新規に採択された「頭脳循環を活性化する若手研究者等海外派遣プログラム」を活用して「東アジア連携推進室」を立ち上げる（項目13－1－1）など特筆すべき取り組みを行っている。 【留意事項】 特になし。
	(3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、適切に実施しており、計画は概ね達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、広報媒体を刷新し、パンフレットを日英両語に再編集して活用する（項目25－1－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 項目17－1－1、17－4－1など、平成22年度計画の達成状況が不十分であった事項については、今後の年度計画策定の際には前年度の計画がどこまで達成されたかをよく見極めるとともに、進捗状況管理等、取り組み状況を定期的に確認することが必要である。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 達成状況の記述が簡潔に過ぎるため、年度計画の各項目について達成されているかどうかの判断が困難であり、年度計画を順調に実施している（自己評定Ⅲ）とは言い難いものが見受けられる（項目3－2－1、5－2－1、6－2－1、8－3－1、9－3－1など）。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:情報科学研究科

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、「ソフトウェアイノベーションのための研究教育プログラムの開発」が「高度な専門職業人の養成や専門教育機能の充実事業」として概算要求が認められる（項目2－1－2）など、特筆すべき取り組みを行っている。また、博士後期課程学生の留学生勧誘のためのスカラシップ制度を導入する（項目3－1－2）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、グローバルCOEプログラムを重点的に推進するとともに、戦略的創造研究推進事業CREST 3件、ERATO などが推進され、情報科学の研究拠点として特筆すべき取り組みを行い、大学の実績として評価できる（項目8－2－4）。また、4分野横断的若手研究者のプロジェクトグループの立ち上げなどにも積極的に取り組んでいる（項目8－2－1）。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、産学連携企画室によるシンポジウム等の開催（項目11－1－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
	(3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、学生相談室の設置により、学生が相談しやすい環境を整える（項目27－4－1）など適切に実施している。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、教育において概算要求が認められる（項目2－1－2）とともに、研究においてもグローバルCOEプログラム、CREST、ERATO等の取り組みを推進する（項目8－2－4）など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:生命機能研究科

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、学生主体の研究交流会の企画を支援し、広範な学問領域で充実した交流会を実施する（項目6－3－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、グローバルCOEプログラム「高次生命機能システムのダイナミクス」、脳情報通信融合研究プロジェクト、生命動態システム科学研究プロジェクトなどの研究を推進する（項目8－2－1）など特筆すべき取り組みを行っている。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、国際サマースクール、研究室滞在プログラムを実施し、学生の国際交流ネットワークを充実する（項目13－2－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
	(3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、事務組織の拡充を行う（項目19－1－1）など適切に実施している。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は特筆すべき進捗状況にあると判断できる。引き続き、現行の取り組みを維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、（独）情報通信研究機構と（独）理化学研究所の両プロジェクトの推進（項目17－1－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:高等司法研究科

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、CONTEA制度（コンタクトティーチャー&チャートシステム）の改善を検討した上で、学生カルテシステムを次年度から実施できる準備を整えた（項目2－1－1）ほか、教職員の側から積極的に学生の意見やニーズを汲み取るオフィスアワーを1年生には45回、2年生以上には109回実施する（項目6－1－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、研究推進室を設け、新たな研究分野を開拓するスタッフミーティングを行う（項目8－1－1、9－2－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、ドイツ・ベルリン自由大学との間で公法関係の共同研究を進め、ブラジル・サンパウロ大学と部局間の交流覚書を締結する（項目13－2－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
	(3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、教育の在り方の再検討や財務、人事などを検討する「計画室」のほか、10の「室」を設置した（項目17－5－1）ほか、年度初めに各室や委員会に年度計画実施の行程表の提出を求め、行程表通りに計画が実施されていることを運営委員会で年に3回チェックする（項目24－1－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、電子学生カルテシステムやGPA制度の導入準備を進め（項目5－1－1）、積極的なオフィスアワーを行う（項目6－1－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:連合小児発達学研究科

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、子どもの心を健やかに育てることに貢献する専門士を育成するための演習・高度専門科目（特論）（項目2－1－1）など適切に実施している。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、3大学の特色を活かした「子どもの心と脳発達学」に関する基盤研究（項目8－1－1）や様々な海外の大学との国際共同研究の推進（項目8－3－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、自治体と協力し発達障害児に対する早期療育活動を展開し、自治体からも同活動が高く評価される（項目12－1－1）など適切に実施している。 【留意事項】 特になし。
	(3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、自己点検・評価を実施し、報告書をホームページに公表する（様式2）など適切に実施している。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、子どものこころの分子統御機構研究センターを連合小児発達学研究科附属とすることにより教員間の交流・連携を強化し、研究科が主導する新しい学際領域を発展させる（項目17－3－1）など適切に実施している。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:微生物病研究所

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	該当なし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、橋渡し研究支援推進プログラムで実施中の卵巣癌を対象とした第1相試験の完遂（項目8－2－1）や、感染症DNAチップ開発センター、遺伝情報実験センター、感染動物実験施設等研究支援組織の充実（項目9－3－1）など積極的に取り組んでおり成果が上がっている。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、海外の大学等他機関と共同でシンポジウム、フォーラム、国際会議等を開催する（項目13－1－1）など積極的に取り組んでおり成果が上がっている。 【留意事項】 特になし。
	(3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	該当なし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、大学間連携事業「病因遺伝子機能解析ネットワーク」の大阪大学拠点として「生体応答遺伝子解析センター」を設置し、ヒト疾患関連のノックアウトマウスの作成と表現型解析を開始する（様式2）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:産業科学研究所

項 目		コメ ント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、全部局横断型ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育プログラムとして、大学院博士前期課程・副専攻型プログラムや大学院博士後期課程「高度学際萌芽研究訓練」の講義を提供する（項目2－2－1）など適切に実施している。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、附置研究所間アライアンス（項目8－2－1）や国際共同研究センターを基盤とした取り組み（項目8－3－1）など特筆すべき取り組みを行っている。さらに、ナノテクノロジー分野における企業リサーチパークの取り組み（項目9－2－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、国際共同研究センターの中に連携研究ラボを新たに2つ設立し共同研究を推進する（項目13－1－1）など特筆すべき取り組みを行っている。また、産研インキュベーション棟に開設した企業リサーチパークなどを活用し、産学連携に積極的に取り組んでいる（項目11－1－1）。 【留意事項】 特になし。
	(3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、教員個人評価（項目24－1－1、24－2－1）、広報誌（項目25－1－1）、リスク管理体制（項目27－1－1）の改善に向けて積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、全国5研究所によるネットワーク型共同研究拠点の拠点本部として、5研究領域部会を設置し拠点活動の基盤を確立する（項目10－1－1）など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:蛋白質研究所

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、協力や兼担している研究科と連携して学部・大学院教育を実施する(項目1-1-1～2-1-1)など適切に実施している。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、プロジェクト「生命分子素子から生命システムの全体像を解き明かす多次元国際研究」のための研究体制の構築(項目8-2-1)、科研費など競争的資金の獲得(項目8-1-1)、PDBjの一環として国際的な生物系NMRデータバンク(BMRB)のミラーサイトを維持するとともに、登録データの受付と処理の継続実施(項目8-3-1)など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、高校生向け蛋白研セミナーや出張講義の実施(項目12-1-1)、多数の海外機関との国際交流や共同研究(項目13-1-1、13-2-1)など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
	(3) 附属病院	【年度計画の達成状況】 該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、全学基礎データとリンクした「蛋白研レポート」の作成と自己評価及び運営・研究活動に対して学内外の学識経験者、専門家を活用し評価を受ける(項目24-1-1、24-2-1)など適切に実施している。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、プロジェクト研究の推進とともに、950MHz超高磁場液体NMR装置が、予想を上回る高い成果を上げる(項目8-2-1)など成果が上がっている。また、大型予算を取得した研究者への支援として、間接経費などの申請・審査システムの確立、事務職員の追加配置(項目9-3-1)など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:社会経済研究所

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	該当なし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、グローバルCOEプログラム「人間行動と社会経済ダイナミクス」について、中間評価で5段階評価の最高の評価を受けた上「特に優れている拠点」と明記されるなど、優れた成果が上がっている（項目8－2－1）。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、新聞、雑誌への掲載、講演、シンポジウムの開催などにより（項目12－1－1）研究活動の社会還元に積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
	(3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、自己点検評価のための「活動報告2010」を作成し、教員評価の結果を給与等へのインセンティブ付与に活用する（項目18－1－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、国立大学准教授に1名、私立大学准教授に2名、金融庁職員に1名が就職する（様式2）など教育の成果が上がっている。また、多数の論文発表、招待講演等の成果を上げる（項目8－1－1）、など研究に特化した部局として積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:接合科学研究所

項 目		コメン
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、国際溶接技術者(IWE)コースの充実を図る(項目2-1-1)とともに、高度副プログラムに積極的に協力する(項目2-2-1)など適切に実施している。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、特異構造金属・無機融合高機能材料開発共同研究プロジェクト、NEDOプロジェクトへの参加、グローバルCOEプログラムの参画(項目8-2-1)や共同利用、共同研究の積極的な推進(項目10-1-1)など特筆すべき取り組みを行っている。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、2つの共同研究部門の受入れ(項目11-1-1)、積極的な国際貢献(項目13-1-1)、国際会議の開催(項目13-2-1)など特筆すべき取り組みを行っている。 【留意事項】 特になし。
	(3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、教員個人評価システムの活用(項目18-1-2)及び自己評価委員会の実施(項目24-1-1)など評価を適切に実施しており、またその結果を業績手当に反映させる(項目18-1-2)など積極的に取り組んでいる。また、研究所独自で月1回安全衛生巡視を実施する(項目27-2-2)など安全への取り組みも適切に実施している。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、研究プロジェクトの実施(項目8-2-1)、外部資金獲得実績の向上(項目20-1-1)、業績評価の結果を研究費配分へフィードバックする(項目17-5-1)など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:低温センター

項 目		コ メ ン ト
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	該当なし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、ヘリウムガスのリサイクル利用を促進し、安価で安定した液体ヘリウムの供給を行うとともに、共同利用実験棟の実験室を整備して、共同利用に供する（項目9－3－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 該当なし。
3. その他 (大学の年度計画：11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流 (3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、液体ヘリウム製造装置の運転について、大阪府の保安検査に合格し、継続して許可される（項目27－2－1）とともに、春季と秋季の安全衛生集中講習会で安全講習を行う（項目27－3－1）など適切に実施している。 【留意事項】 該当なし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、ヘリウムガスのリサイクル利用を促進し、安価で安定した液体ヘリウムの供給（項目9－3－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 該当なし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:超高压電子顕微鏡センター

項 目		コメ ント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	該当なし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、グローバルCOEプログラムや（独）科学技術振興機構戦略的創造推進事業(CREST)に共同研究者として参画するとともに、超高压電子顕微鏡連携ステーション（第Ⅱ期）の世話大学を務めたほか、学会での基調講演や優秀研究発表賞の受賞（項目8－2－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、社会人を対象とした「ナノ高度学際教育研究訓練プログラム」の授業分担や電子顕微鏡に関するセミナーの実施（項目11－2－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
	(3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、15件の外部資金の獲得（項目20－1－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、学内外あわせて75件の共同利用・共同研究を実施する（項目10－1－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:ラジオアイソトープ総合センター

項 目		コメン
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、放射線業務従事者に対する教育や主任者試験対策講座（延べ受講者235名）の実施（項目2－1－1）など積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、施設の共同利用者向け講習会（延べ29回）を実施する（項目10－1－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、豊中市消防署員への放射線安全教育教習会を3回実施する（項目12－1－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
	(3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、全学の放射線業務従事者の個人管理（登録者数5,698名）を行う（項目27－2－1）など積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、放射線障害防止法が規定する教育訓練（延べ24回、受講者2,553名）を実施する（項目27－2－1）など積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:環境安全研究管理センター

項 目		コメ ント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	該当なし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、高機能触媒反応の開発について学会発表を行う（項目8－1－1）など、適切に実施している。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、吹田市環境審議会専門委員として吹田市施策、条例改正等に関する審議を行う（項目12－1－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
	(3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、法令等に基づき有害化学物質の作業環境測定を行い、必要に応じ改善指導を行い、また、対象化学物質の排出量及び移動量を評価算出し、大阪府に届け出る（項目27－2－1）など適切に実施している。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、薬品管理支援システム(OCCS)の管理、運営を適正に行うとともに、物品納品確認（検収）システムでの一部利用（項目27－2－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:国際教育交流センター

項 目		コメ ント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、英語による講義に関するFDの実施や留学生のキャリア形成支援（項目5－3－1、7－1－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、国際教育交流のための研究会（9回）の開催（項目8－1－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、日本語教育を中心とした超短期プログラムの実施や一般学生を対象とした短期英語プログラムの実施（項目13－1－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
	(3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	該当なし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、来日対象者のオリエンテーション、受け入れ担当者説明会等を開催し、サポートオフィスの活動を軌道に乗せる（項目13－1－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:生物工学国際交流センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	該当なし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、(独)日本学術振興会「亜熱帯微生物資源を活用する次世代物造りバイオ技術の構築」プロジェクトを実施する(項目8－1－1)など積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、東南アジアのバイオテクノロジー関連研究者と連携する(項目13－2－1)など積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
	(3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、センターの教育研究活動に関する英語のホームページを作成する(項目25－1－1)など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、ユネスコのconference事業を実施し東南アジア諸国の研究者と連携を深める(項目8－2－1、項目8－3－1)など積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名: 極限量子科学研究センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	該当なし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、高圧力下でのナノ多結晶ダイヤモンドの開発や強磁場中での測定法の開発（項目8－1－1）など積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、適切に実施しており、計画は概ね達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、ナノエレクトロニクスに関する産学連携や国際共同研究の推進（項目11－1－1、項目13－1－1）など適切に実施している。 【留意事項】 項目13－2－1の学生の海外派遣など、平成22年度計画の達成状況が不十分であった事項については、今後の年度計画策定の際には前年度の計画がどこまで達成されたかをよく見極めるとともに、進捗状況管理等、取り組み状況を定期的に確認することが必要である。
	(3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、外国人客員教員や女性研究員の任用（項目18－2－1）など多様な人材の確保に積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、ランニングコストの削減のため、クリーンルームの空調の改修を行う（項目22－1－1）など経費削減に積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:太陽エネルギー化学研究センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	該当なし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、太陽電池・ナノ粒子合成・無機光触媒・発光型分子デバイスなど、環境問題への解決策を目指した研究（項目8－1－1）に積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流 (3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	該当なし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、グローバルCOEプログラム「生命環境化学グローバル教育研究拠点」へ参画して持続可能な社会の実現を目指した研究を推進する（項目8－2－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:総合学術博物館

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、展示資料の写真撮影及びそのデータベース化などにより、博物館資料を積極的に利用し（項目1－2－1）、また、各種団体の博物館見学の際は専任教員による展示資料等の説明を行う（項目3－1－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、学際融合的な研究成果として、企画展、特別展を開催するとともに、論文や学会発表等を行う（項目8－1－1）など適切に実施している。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、サイエンスカフェ、ミュージアムレクチャー及び豊中市教育委員会と「夏の小学生科学体験教室」を4回開催する（項目12－1－1）など適切に実施している。 【留意事項】 特になし。
	(3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、自治体の教育委員会や外部の機関、専門家と連携して、「最先端の物理を高校生に Saturday Afternoon Physics 2010」の開講や展覧会のミュージアムレクチャーで講演会を開催する（項目17－1－1）など積極的に取り組むとともに、総合学術博物館外部評価委員会を開催し、外部評価をとりまとめた「外部評価報告書」を発行する（項目24－1－1）など適切に実施している。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、企画展および特別展を開催するとともに、サイエンスカフェ、ミュージアムレクチャーなどを開催する（項目8－1－1、12－1－1）とともに、これらの発信によりテレビ、新聞などの取材回数が増える（様式2）など成果が上がっている。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:大学教育実践センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、ディベート型授業や文系学生のための自然科学系体験学習授業、自己提案型の基礎セミナー、自立型学習形態の授業の開講（項目1－1－1、項目1－2－1）やステューデント・コモنزの拡充（項目5－1－1）、学生と教職員が一体となって企画・実施するFD・SDの実施（項目5－3－1）、学生向けホームページのリニューアル（項目6－1－1）など積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、個人評価に基づいてサバティカルポイントを付与する（項目9－3－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、高校生を対象とした基礎セミナーの実施（項目12－1－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
	(3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	該当なし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、ステューデントコモنزの利用者が飛躍的に増加し、双方向型授業等の実施に活用される（項目5－1－1）など特筆すべき取り組みを行い、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:先端科学イノベーションセンター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、産学官連携を通じたイノベーション創出のためのFDプログラムとして、海外大学に若手教員を3名派遣する(項目5-3-1)など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、バイオ生命系分野における遺伝子ターゲッティングの成功(項目8-2-1)など特筆すべき取り組みを行っている。また、センターの施設・設備等を活用し、共同研究や共同利用の推進(項目10-1-1)にも積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、技術相談・特許相談及び共同研究の推進、産学官連携に係る学内外でのイベントの協力(項目11-1-1、12-1-1)など積極的に取り組んでいる。また、ECO-MATES2011に開催に向けて組織・実行委員会を開催、国際ネットワークの充実を図る(様式2)など精力的に進めている。 【留意事項】 特になし。
	(3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、バイオイノベーション推進のためのバイオ関連戦略デザイナーを配置する(項目17-5-1)など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。組織変更後も取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、次世代の産業イノベーションに繋がる重点プロジェクトの推進(項目8-2-1)及び産学官連携の推進、知的財産の取り組み、学内研究者活動などの紹介・発表への協力(項目11-1-1)など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:保健センター

項 目		コ メ ン ト
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	該当なし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	該当なし。
3. その他 (大学の年度計画：11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流 (3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、センターのメンタルヘルス担当教員を中心にメンタルヘルスケア対策検討ワーキングを組織し、「大阪大学におけるメンタルヘルス問題基本方針」の策定や職場復帰支援についての大阪大学案のとりまとめを行う（項目27－4－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、国立大学法人保健管理施設協議会の分科会であるフィジカルヘルスフォーラムを開催し、大学の安全衛生管理について、シンポジウム等を開催する（様式2）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:臨床医工学融合研究教育センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、キャリア形成を効果的に促進するための教育として高度職業人育成科を設け、3コース構成で実施する（項目2－1－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、グローバルCOEプログラム「医・工・情報学融合による予測医学基盤創成」により構築した予測医学基盤の情報プラットフォームの開発推進（項目8－1－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、土曜講座の開講（18コース提供、社会人148名、関西地区の教育機関大学院生92名、本学学生184名受講）、臨床医工・情報学コンソーシアム関西を介したシンポジウムの開催（項目11－2－1、12－1－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
	(3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、平成21年度に実施した授業アンケート調査の結果を分析し、要望などを可能な限りフィードバックするとともに、追加アンケートを実施しプログラムの有用性（影響）を調査の上、更なる改善のための基礎データを収集する（項目25－1－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、「医・工・情報連携によるハイブリット医工学産学連携拠点整備事業」が採択され推進の準備を開始する（項目8－1－1、8－2－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:コミュニケーションデザイン・センター

項 目		コ メ ン ト
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、新規提供科目の開発を検討するため、授業アンケートだけでなく個別インタビューを実施する（項目1－1－1、5－2－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	該当なし。
3. その他 (大学の年度計画：11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、京阪電車と連携して「アートエリアB 1」で「ラボカフェ」を79回運営する（項目12－1－1）など学術文化の地域への還元に積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
	(3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、組織改組に伴う各部門の教育、研究、社会貢献活動について自己点検評価を実施する（項目24－1－1）など適切に実施している。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、人間科学研究科や文学研究科、工学研究科等との連携によるプログラムの新規構築の可能性を検討する（項目2－2）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:金融・保険教育研究センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、外国人特任教員3名を任用し、英語で提供される正規科目を1科目、また正規科目を補完するミニレクチャー・シリーズを2科目配置する(項目1-3-1)とともに、KOANを利用した学生による授業アンケート及びプログラム修了者によるプログラム全体に関するアンケートを実施し、その結果を実施専門委員会において検討する(項目5-3-1)など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、産学連携による国内・国際ワークショップ、セミナー等を通じて、他大学・他機関と連携した研究を活性化し、共同研究の可能性を探る(項目10-1-1)など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、科目等履修生高度プログラム(金融・保険)の枠組みで、科目等履修生を8名受け入れる(項目11-2-1)など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
	(3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、センター長の機動的・戦略的な意思決定の補佐・支援に資するため、新たに、予算委員、広報・情報委員、国際交流委員、中之島ワークショップ担当委員等を配置する(項目17-5-1)など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、学内から4研究科の兼任教員及びセンター所属の特任教員、学外から公的・民間金融機関、各種専門家団体所属の実務家教員など多様なバックグラウンドを持つ教員を配置して、基礎的なものから先端的、実践的なものまで様々なプログラムを提供する(項目4-1-1)など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:科学教育機器リノベーションセンター

項 目		コメン
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、フロンガスによるオゾン層破壊のメカニズムを学習するための教材を製作する（項目1－2－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、リユース設備機器63機種について、部局内8,694件、部局間339件の利用があり、また、学外利用に供している5機種について、6件利用され、センター独自で設計製作したリユース装置である各種薄膜作製装置を用いて、依頼業務に活用する（項目9－3－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、いちょう祭での施設公開、高校見学・実演会、サイエンス・パートナーシップ・プログラムの実施（項目12－1－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
	(3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、機械工学ステューデントショップの安全講習会を開催するとともに、受講できなかった者等のため、別日程の臨時安全講習会を行う（項目27－3－1）など適切に実施している。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、63機種のリユース設備機器について339件（前年度213件）の部局間利用があり、また、学外利用にも供している5機種については6件利用される（項目9－3－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:グローバルコラボレーションセンター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、海外体験型教育企画オフィス（FIELD0）内に、海外体験型学習に関する自主学習スペース（STUDIO）を設置する（項目5－1－1）など積極的に取り組んでおり、また、新たに、「グローバル健康環境」、「医療通訳」、「国連政策エキスパートの養成」の3つの高度副プログラムを構築する（項目1－1－1）など特筆すべき取り組みを行い、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、GLOCAL共同研究（国際連携型）として、国際共同研究を2件実施する（項目8－3－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、大阪大学バンコク教育研究センターや他の海外の組織と連携して、主催と共催を合わせて計7回のセミナーをバンコクで開催し、国際的交流ネットワークを充実する（項目13－2－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
	(3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、外部評価委員会により平成21年度に実施した外部評価の結果を取りまとめて公開する（項目24－1－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、既存の高度副プログラムに加え、新たに「現代中国研究」を試行し、3つの高度副プログラムを新たに構築し、平成23年度から施行することを決定するとともに、海外体験型オフィス（FIELD0）を設置し、海外フィールドスタディ・プログラムを試行する（様式2）など特筆すべき取り組みを行い、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:世界言語研究センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	該当なし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、民族紛争の背景に関する地政学的研究プロジェクト、新学術領域研究において、国際シンポジウムや国際会議を開催する（項目8－3－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、いちろう祭において「世界の言語をインターネットで」と題して、高度配信プロジェクトや社会人を対象とした学士レベルの言語教育プログラムの提供（項目12－1－1）など適切に実施している。 【留意事項】 特になし。
	(3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、ハラスメント相談のための相談員を4名配置し、ハラスメント講演会、メンタルヘルス講演会への参加を促進する（項目27－4－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、教員業績評価基準を見直し、より広く教員の諸活動を評価できる制度として実施する（項目24－1－1）など適切に実施している。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:日本語日本文化教育センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、国費学部留学生予備教育プログラムで140コマ、短期留学日本語日本文化特別プログラムにおいて180コマを開設する（項目1－3－1）など適切に実施している。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	該当なし。
3. その他 (大学の年度計画：11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、海外の機関や修了生のネットワーク構築（項目13－2－1）など適切に実施している。 【留意事項】 特になし。
	(3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	該当なし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 ・平成22年度は、基礎研究を推進するため、特別研究費Ⅰ（学会発表等出張補助費）及び特別研究費Ⅱ（競争配分研究補助費）を設置し、それぞれ7件を採択したほか（様式2）、「マンチェスター大学との教育効果に関する共同調査プロジェクト」を立ち上げ、マンチェスター大学教員との相互訪問を実現し、センターに在籍した同大学学生に対する教育効果を共同で調査する（様式2）など積極的に取り組んでいる。 ・平成22年度は、専任教員の自己点検評価を実施し、評価に応じた研究費の配分を行う（様式2）など適切に実施している。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:環境イノベーションデザインセンター(旧サステナビリティ・デザイン・センター)

項 目		コメ ント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、8研究科・部局との連携の下、分野横断的な科目28科目を開講し、また、新規開講した教養科目「サステナビリティ学入門」に8学部より72名が受講する（項目1－1－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、エコデザイン、エコエネルギーなど研究を実施するとともに学内における関連研究について調査を行うなど、これらを通じて学内の連携研究を組織し、先端的な研究を推進する体制を整備する（項目8－2－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 各部局等と合同で中国の環境や資源に関する研究プロジェクト立ち上げを検討し、事前調査や現地政府関係者等との交流活動を行う（様式2）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
	(3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、社会のニーズを反映させる形で低炭素キャンパス部門を事業の柱として新たに設置し、教育・研究の内容についての見直しを図る（項目17－3－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、低炭素キャンパス部門を新たに設置するとともに、キャンパスの省エネの実践（電気消費量計測装置等を学内に設置）と研究（学内教員による研究会を3回開催）、またその成果を教育（エコキャンパスツアー、教養科目での講義等）に還元する（項目26－2－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:ナノサイエンスデザイン教育研究センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、大学院高度学際副プログラムの博士前期課程の副専攻化（14単位）が承認され、平成23年度から実施する体制を整える（項目1－2－1）とともに、社会人教育プログラム夜間講義で中継地点を企業連携で3カ所増設、大学院教育の「ナノテクキャリアアップ特論」で新たな配信先として滋賀県立大学が参加、筑波大学、和歌山大学が正規授業化（単位付与）を実現する（項目4－2－1）など特筆すべき取り組みを行っている。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、（社）大阪大学ナノ理工学人材育成産学コンソーシアムとの共催の情報交換会等を行い、同コンソーシアムから新たな研究テーマの提示があるなどの研究情報交流の推進がなされる（項目8－2－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、スーパーサイエンスハイスクール指定高校の生徒20名を対象に、ナノサイエンスデザインラボラトリー所有最先端機器（電子顕微鏡、電子線リソグラフィ、レーザー顕微鏡など）による実習を実施する（項目12－1－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
	(3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、産学官連携に係るイベントへの出展等支援経費の獲得により産学連携相互人材育成の理念を広く周知し、また、教育研究等重点推進経費獲得により遠隔授業の拡大を図る（項目17－4－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、大学院高度副プログラムの博士前期課程の副専攻化（14単位）が承認され、平成23年度から実施する体制を整える（項目1－2－1）など特筆すべき取り組みを行っている。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:知的財産センター

項 目		コメ ント
1. 教育 (大学の年度計画: 1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、知的財産に関する授業の拡充（項目1－1－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、知的財産セミナーやシンポジウムの実施（項目8－2－1）、各部局における知的財産の活用促進に向けての体制整備（項目10－1－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、産官学連携による知的財産に関するシンポジウムやフォーラムの開催（項目11－1－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
	(3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、知的財産センターの教員と、法学研究科、高等司法研究科並びに産学連携本部の代表によって構成される運営委員会を設置し（4月設置、10回開催）、合わせて、各部局の代表によって構成される総合企画委員会を設置し（10月設置、1回開催）、全学的な意思決定を行う体制の構築など（項目17－5－1）積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、企業の知的財産戦略実務経験者による実務科目の開講（項目7－1－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:核物理研究センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、基礎セミナーの新設や施設の見学会開催（項目1－2－1）、最先端の大型研究施設の実験装置を学部教育に利用（項目4－1－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、陽子ビーム量当たり世界最高のミューオンを得る（様式2）など特筆すべき取り組みを行っている。また、中性子電気双極子能率測定研究に関し3機関と学術協定を調印する（項目8－1－1）など共同研究にも積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、次世代スパコン京の運営への参加、大学院生を対象としたサマースクール・サマーチャレンジの主催（項目12－1－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
	(3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、共同利用・共同研究拠点として拠点事業評価委員会を開催する（項目17－1－1）など積極的に取り組んでいる。また、特に優れた研究計画や若手研究者を支援するための配分計画を策定している（様式2）。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、陽子ビーム量当たり世界最高のミューオンを得る（様式2）など特筆すべき取り組みを行っている。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:サイバーメディアセンター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、教員及びTAを対象としたCALL講習会を年5回開催し、Web0CMを利用してCALL教室での授業を円滑に行えるようにする（項目4－2－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、共同利用・共同研究拠点として、6機関26名の研究者が、SX-8R、SX-9、PCクラスタを利用（ジョブ件数：584件、CPU時間：64,741時間）する（項目10－1－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、高校生のためのスーパーコンピュータを使ったプログラミングコンテストを東京工業大学と主催し、コンテストの運営およびサイバーメディアセンター豊中教育研究棟で参加した8校10チーム（西日本地区の予選通過チーム）への支援を行う（項目12－1－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
	(3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、問い合わせに対するサービス向上及びデータベース検索の向上を図るため、ホームページのリニューアルを実施する（項目29－2－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、大学教育のグローバル化に対応したFD支援事業（通称GFD）では、教員用自習教材「Let's teach in English」の開発をすすめ、開発した教材を順次WebCT上で公開する（様式2）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:レーザエネルギー学研究センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、グローバル30の学生の受け入れと実践的な国際教育の推進(項目1-3-1)など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、「超高強度レーザーが拓く高エネルギー密度科学の戦略的研究拠点事業」の採択(項目8-1-1)、その他重点プロジェクトの実施(項目8-2-1)など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、先端研究施設供用促進事業を通じた17件の産学連携研究テーマの実施(項目11-1-1)、外国人トークフェスタやワークショップ開催による国際交流(項目13-1-1)など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
	(3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、適正な予算執行のための事務手続きの改善(項目17-6-1)、センター内教員評価の実施(項目24-1-1)など適切に実施している。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、重点プロジェクトによる研究(項目8-1-1、8-2-1)や共同利用促進による社会貢献(項目11-1-1)など適切に実施している。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:免疫学フロンティア研究センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、共通教育の基礎セミナー『私たちを守る免疫の世界』を開講するなど（様式2）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、免疫学・イメージング・バイオインフォマティクス各分野の研究推進及びそれらの異分野融合研究支援プログラムにより、着実な成果を上げる（項目8－2－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、ニュージーランド免疫学会との合同ワークショップ、国際シンポジウムの多数開催（項目13－1－1、13－2－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
	(3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、適切に実施しており、計画は概ね達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、ホームページの充実に加え、高校生を対象としたイベントや一般人向けのワークショップ、サイエンスカフェを開催する（項目25－1－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 項目17－1－1など、平成22年度計画の達成状況が不十分であった事項については、今後の年度計画策定の際には前年度の計画がどこまで達成されたかをよく見極めるとともに、進捗状況管理等、取り組み状況を定期的に確認することが必要である。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、センターの重点プロジェクト研究について顕著な論文業績を上げるとともに（項目8－2－1）、多彩な国際シンポジウムを開催する（項目13－2－1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成22年度)

部局名:学際融合教育研究センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成22年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成22年度は、社会ニーズの調査結果をもとに、センター主導で、「国際標準化」と「キャリアデザイン」の2つの副プログラムを開発し、加えて、研究科やセンターのプログラム開発をコーディネートし、新規に3つの副専攻プログラムと35の高度副プログラム（前年比8増）の開発を行い、平成23年度からの実施に繋げる（項目2-2-1、4-1-1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	該当なし。
3. その他 (大学の年度計画: 11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流 (3) 附属病院	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	該当なし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成22年度は、高度副プログラム・副専攻プログラムの機能追加及び拡充を図る（項目2-2-1）など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。